Phonak ComPilot

フォナック コムパイロット

取扱説明書

はじめに

このたびはフォナック社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

Phonak ComPilot(フォナック コムパイロット:以下「コムパイロット」)はリモコンとして補聴器の音量変更やプログラム変更を簡単に行うことができるだけでなく、無線技術を用いてご利用いただいている補聴器とスマートフォン、携帯電話、音楽プレーヤーや携帯型ゲーム機などの機器との中継器となりあなたの聞こえの世界を広げることができます。

ご使用いただく前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
取扱説明書で不明な点がありましたら、本取扱説明書に記載されております「お客様相談窓口」までお問合せください。

もくじ

安全上のご注意（必ずお守りください）

■お使いになる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しておりますので、必ずお守りください。

■次の表示区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

コムパイロット、ACアダプターの取り扱いについて

⚠ 危険

- ペースメーカーの植込み手術をされている方は使用しないでください。
- コムパイロットに使用するACアダプターは、フォナック社が指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用した場合、コムパイロットとその他機器を、漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
- 分解、改造をしないでください。火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
- 濡らさないでください。発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いに注意してください。
- 火のそばや、直射日光の強いところ、炎天下の車内など高温の場所で使用・放置をしないでください。機器の変形、故障や、内蔵バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。

⚠ 警告

- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。内蔵バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

- 使用中、充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形など、今までと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

  1. 電源プラグをコンセントから抜く。
  2. コムパイロットの電源を切る。

  そのまま使用すると発熱、破裂、発火または内蔵バッテリーの漏液の原因となります。

- ペットのそばや子どもの手の届くところに保管しないでください。

- 航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、コムパイロットの電源を切ってください。電子機器や医療用電気機器に影響を与える場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

⚠注意

- 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には置かないでください。
- 充電の際にコムパイロット本体やACアダプターの温度が高くなることがあります。

ACアダプターの取り扱いについて

⚠警告

- 濡れた手でACアダプターのコード、コンセントに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターは、風呂場などの湿気の多い場所では、使用しないでください。感電の原因となります。
- 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電、火災、故障の原因となります。

- コンセントにつながれた状態で、充電端子に手や指など体の一部を触れさせないでください。感電、傷害、故障の原因となります。
- ACアダプターをコンセントに差し込むときは、金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。感電、ショート、火災の原因となります。
- 指定の電源、電圧で使用してください。火災、故障の原因となります。
- プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、コムパイロット、ACアダプターに触れないでください。落雷、感電の原因となります。
- 充電中は、充電器を安定した場所に置いてください。また、充電器を布等で覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障に原因となります。
- 所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。

⚠ 注意

- お手入れの際は、コンセントからプラグを抜いて行ってください。感電の原因となります。
- ACアダプターをコンセントから抜く場合は、ACアダプターコードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。感電、火災の原因となります。
- ACアダプターのコードや電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。感電、火災の原因となります。

コムパイロットとは?

この製品には、大きく分けて2つの機能があります。

1. リモコンとして、音量調節やプログラム変更ができます。
2. フォナック製補聴器と各種オーディオ機器とを無線で接続することができます。コムパイロットはご使用中の補聴器へさまざまな機器からの音声信号を高音質のまま簡単な操作で伝送します。

- Bluetooth対応の携帯電話、パソコンと無線で接続できます。
- 別売のフォナック テレビ リンク S を利用してテレビの音声を無線で聞くことができます。
- 別売のフォナック リモートマイクを使用して、騒がしい場所でも離れた相手の声を聞くことができます。
- オーディオケーブルを利用して音楽プレーヤーや携帯型ゲーム機と接続できます。
- フォナック補聴援助システム Roger および FM受信機を取り付けて利用することができます。

※Bluetooth® はBluetooth SIG, Incの登録商標です

本体および付属品

① コムパイロット本体

② ネックループ
（標準・ショート各1本）

③ ACアダプター

④ 取扱説明書（本書）

②

③

④

各部の名称

操作ボタン

①メインボタン(M)
②音量調節ボタン(+/−)
③ホームボタン(⌂)
④接続ボタン(‹›)
⑤電源スイッチ

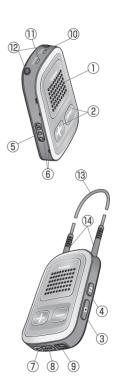
入力端子

⑥マイク
⑦外部入力端子
⑧FM入力端子
⑨ミニUSBソケット

確認ランプ

⑩オーディオ状態表示
⑪電池状態表示

ネックループアンテナ

⑫ソケット
⑬ネックループアンテナ
⑭プラグ

ご使用になる前に

コムパイロットには、繰り返し充電可能な電池が内蔵されています。下図のようにACアダプターを接続し充電してからご使用ください。

充電中は電池状態表示が赤く点灯します。充電が完了すると緑色の点灯に変わります。

通常、充電は約90分で完了します。充電完了後ACアダプターを接続したままでも、過充電の恐れはございません。

初めてコムパイロットをご使用になる際は、途中で電池状態表示が緑色に点灯してもそのまま継続し、最低3時間以上の充電を行なってください。また、充電池を完全に機能させるまでに2〜3回の放充電が必要な場合がございます。

安全のため、充電は付属のACアダプターかUSB認証を取得した500 mA以上の出力を持つ充電器をご使用ください。

コムパイロットの使用可能時間

使用状況により、使用可能時間が異なります。

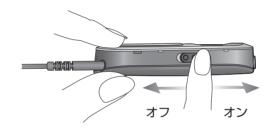
使用状態	連続使用可能時間
Bluetooth接続時 連続再生	8時間
Bluetooth接続時 連続待受	48時間
ケーブル接続時 連続再生	10時間
Roger/FM接続時 連続再生	9時間

リモコンとしてのみ使用した場合：通常使用で約2ヶ月

※本製品を使用して音声ストリーミングを行った場合、補聴器が本製品とデータ通信を行うことで消費電流が大きくなります。そのため、カタログ等に記載されている補聴器の電池寿命の値より短くなることがあります。補聴器の電池寿命は本製品をご使用いただく時間によって異なりますが、これにより補聴器の電池寿命が短くなりましても異常ではありません。
もし、充電時間や使用可能時間が仕様と明らかに異なる場合はお求めの販売店にお問い合わせください。

コムパイロットの電源

電源をオン・オフするには

図のようにに電源スイッチをスライドさせます。 電源が入ると電池状態表示が点灯します。

コムパイロットを使わないときは、ポケットやかばんの中で誤動作をしないよう、電源スイッチをオフにしてください。
コムパイロットを使用する時だけ電源スイッチをオンにしてください。

コムパイロットの装着方法

コムパイロットを使用する際、使用目的に合わせて二通りのスタイルがあります。

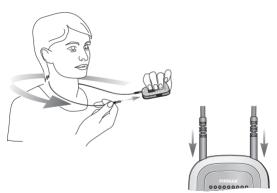
首にかける

コムパイロットにネックループを取り付け、首にかけて使用します。すべての機能がご利用頂けます。

手に持つ

ネックループを外した状態で、手に持って使います。コムパイロットのリモコン機能のみご利用頂けます。

コムパイロットの装着

コムパイロットを使用して携帯電話、テレビなどの音声を聞くときには、あらかじめコムパイロットの電源をオンにして、正しく首にかける必要があります。
ネックループは、標準またはショートのどちらか身体に合ったものをご使用ください。ネックループはいつでも交換できます。

1. あらかじめ、ネックループのプラグのうち片方をコムパイロットのソケットにしっかり差し込んでおきます。

2. ネックループを首にかけ、もう一方のプラグもコムパイロットに差し込み、ネックループがしっかり固定されていることを確認します。

3. コムパイロットの電源をオンにします。

音声ストリーミングを行うときは、必ずネックループを取り付け首にかける必要があります。もし、ネックループが取り付けられていないと電源がオンになっていても一定時間後にスリープ（省電力）状態になります。

接続テスト

コムパイロットが正しく装着され、補聴器との通信が可能かどうかテストを行うことができます。

1. コムパイロットを装着し、電源をオンにします。
2. 接続ボタン（‹›）を押しながらメインボタン（M）を2秒間押し続けます。オーディオ状態表示が紫色に点灯します。
3. 正常に動作している場合、補聴器から確認のためのメロディが30秒間流れます。この間に、音量調節ボタン（+/−）を操作して音量調節が正しく働くかどうかをチェックすることも可能です。メインボタン（M）を押すと、メロディの途中でもテストを中断することができます。

携帯電話の通話中など、コムパイロットの音声ストリーミング中にこのテストを行うことはできません。

もし、確認のためのメロディが聞こえない場合は以下のことを確認してください。

- 補聴器が正しく装用されているか確認してください。
- ネックループの両端がコムパイロットに正しく取り付けられ、首にかけられているか確認してください。
- コムパイロットが充電され、電源がオンになっているか確認してください。

コムパイロットのリモコン機能を使用する

※コムパイロットをリモコンとして使用する際には、あらかじめ、補聴器との組み合わせを設定しておく必要があります。お手持ちの補聴器がコムパイロットで操作可能かどうか、不明な場合はお求めの販売店にお尋ねください。

コムパイロットをリモコンとして操作する時は、ネックループを外して手に持った状態でも使用可能です。

操作可能な範囲

コムパイロットの操作可能範囲は、ネックループを外した状態で、補聴器から50 cm程度です。

コムパイロットの各ボタン操作は次のようになっています。

音量調節

音量を上げるには
(+)を押します。

音量を下げるには
(−)を押します。

プログラム変更

プログラムを変更するにはメインボタン(M)を押します。ホームボタン(⌂)を押すと、プログラムおよび音量がスタートアップ時に戻ります。

ホームボタン(⌂)長押しで、あらかじめ設定したプログラムをいつでも呼び出せるよう設定することができます。詳しくは販売店にお尋ねください。

※コムパイロットの電源をオンにしたあと、メインボタン（M）を押してプログラム変更を行った場合、補聴器のプログラムがどのポジションであってもスタートアッププログラムの次のプログラムに切り替ります。（通常はサウンドフローの次の手動のプログラム1）

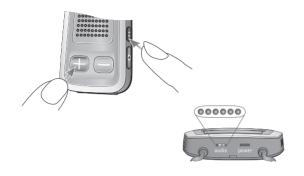
- ボタン操作ごとに電池状態表示が点灯し、補聴器を操作する信号が送られます。また、補聴器からビープ音が聞こえます。（設定により鳴らなくすることもできます）
- 両耳に補聴器を装用している場合、コムパイロットは両耳の補聴器を同時に切り替えます。
- ご自身の補聴器のプログラム設定および調整可能なボリュームの範囲についてはご購入の販売店にお尋ねください。
- ボタン操作の際に電池状態表示が赤く点灯したときは、コムパイロットを充電してください。

コムパイロットのストリーミング機能を使用する

ペアリングについて

お手持ちのBluetooth機器をコムパイロットと組み合わせて使用するにはペアリングと呼ばれる作業が必要になります。ペアリングとは、Bluetooth機器どうしを通信できるように許可する操作を指し、初めてご使用になる前に必ず必要となります。

ペアリング方法

1. ペアリングを行う前に、コムパイロットの充電を行なってください。また、ペアリング作業を行う際は、ネックループを必ず取り付けてください。
2. 次に、コムパイロットとBluetooth機器の双方を手の届く範囲(50 cm以内)に準備します。
3. 携帯電話は、あらかじめ設定メニューなどから関連する項目を表示しておきます。
4. コムパイロットをペアリングモードにします。コムパイロットの電源をオンにします。次に接続ボタン(‹›)を押しながら、オーディオ状態表示が青色の素早い点滅になるまで音量調節ボタン(+)を2秒間長押しします。

5. 1分以内にBluetooth機器側のペアリング作業を行います。携帯電話、PCなどはBluetooth機器の検索を行います。画面に検出された機器のリストが表示されますので、その中から「Phonak コムパイロット」を選択します。PINコードやパスキーなどの入力が必要な場合は「0000(数字の0を4つ)」を入力してください。Bluetooth送信器など、画面表示のない機器の場合は、その機器をペアリングモードに切り換えます。多くの場合、自動的にコムパイロットを検出しペアリングを行います。

以上でペアリング作業は完了です。

Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器とコムパイロットのペアリングが完了したら、使用(通話)の前に機器同士を接続する必要があります。携帯電話、PCなどの場合、登録したBluetooth機器一覧で確認できます。接続の手順はそれぞれの取扱説明書をご確認ください。Bluetooth送信器などの場合は、ペアリング完了後自動的に接続を行います。

携帯電話とコムパイロットの接続は、双方の電源がオンの状態で通信可能な範囲にある間は維持されます。いずれか一方の電源をオフにしたり、通信範囲外に移動したあとは再度接続操作が必要になる場合がございます。

接続可能な機器の数

コムパイロットは、最大8台までのBluetooth機器をペアリングすることができます。

また、最大4台のBluetooth機器を同時に接続することができます。
これをマルチポイントペアリングと呼び、HFP(ハンズフリー)またはHSP(ヘッドセット)プロファイルで2台、A2DP(オーディオ)プロファイルで2台まで同時接続可能です。ただし、同時に使用できるのはそのうち1台のみです。

例として2台の携帯電話を接続し、同時待ち受け可能にするための手順をご紹介します。

1. 1台目の携帯電話とコムパイロットをペアリングします。
2. 2台目の携帯電話とコムパイロットをペアリングします。
3. 1台目の携帯電話の操作メニューからBluetoothの項目を開き、登録したBluetooth機器一覧からコムパイロットを選択し、接続し直します。

いずれか一方の電話で通話を行なっている場合、もう片方の電話に着信があっても、コムパイロットでその電話を受けることはできません。

コムパイロットから全てのペアリング情報を削除したい場合は、次の操作を行なってください。

1. コムパイロットの電源をオンにする
2. 接続ボタン(‹›)を押しながら音量調節ボタン(+)を約10秒長押しします。オーディオ状態表示が青色の素早い点滅になったあと、消灯すれば完了です。

携帯電話とコムパイロットの使用について

携帯電話とコムパイロットを初めて使用する際は、あらかじめペアリング作業（27ページ）を行なってください。

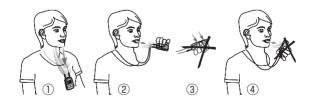
携帯電話の待ち受け時は、コムパイロットの電源をオンにし、ネックループを取り付けて首に正しく装着してください。

携帯電話とコムパイロットの通信について

通話の際、相手の声はBluetoothでコムパイロットに送られ、コムパイロットから補聴器に送られます。また、コムパイロットには高性能な指向性マイクを搭載しており、コムパイロットのマイクが自分の声を拾いますので、電話機自体を手に持たずにハンズフリーでの通話が可能になります。

コムパイロットで電話を受ける

携帯電話とコムパイロットがBluetoothの通信範囲から外れたときは通話中であっても通信が切断されますのでご注意ください。

コムパイロットのマイクは、周囲の騒音を抑制して話し手の声を十分に拾うことができるよう側面に設置されています。
通話の際はコムパイロットを首にかけたまま①のようにお話しください。騒音下においては②のように口元に近づけてください。その際、③のようにコムパイロットの側面のマイクを手で塞がないよう注意してください。④のように、コムパイロットを横向きにして使用しても音質の向上にはなりません。

電話を受ける

携帯電話に電話がかかってくると、補聴器から着信音が聞こえます。このとき、テレビや音楽プレーヤーを接続しストリーミングを行なっていた場合でも着信が可能です。通話終了後、自動的にストリーミングを再開します。

着信を受けるときは、コムパイロットのメインボタン（M）を押してください。通話確立後、携帯電話の操作は必要ありません。
通話を終了するときも、コムパイロットのメインボタン（M）を押してください。通話が終了し、元のプログラムに戻ります。通話を終了する際、携帯電話側の操作でも可能です。

着信の際、補聴器から着信音が聞こえるまで最大5秒程度かかることがあります。

着信拒否をするときは、着信音が止まるまで（約2秒）コムパイロットのメインボタン（M）を押し続けます。着信を終了し、補聴器は元のプログラムに切り替わります。

オプション
コムパイロットはメインボタン(M)、もしくは接続(‹›)ボタンの長押しで下記の機能を呼び出せるよう設定することができます。これらは、初期設定では無効になっていますので、使用する際はお求めの販売店で設定を行なってください。
コムパイロットでこれらの機能が使用可能かどうかは、お使いの携帯電話に依存します。詳しくはお手持ちの電話機の取扱説明書をご覧いただくか、電話機の製造元にお問い合わせください。

1. リダイヤル
   設定したボタンの長押しで、最後にかけた番号にもう一度発信します。

2. 音声ダイヤル
   設定したボタンの長押しでこの機能を呼び出したあと、コムパイロットマイクにダイヤルしたい相手の名前を音声で入力します。(携帯電話を2台同時待ち受けしている場合は、最後にペアリングした電話機のみ有効になります)

3. 着信保留（ミュート）

通話中に設定したボタンの長押しで通話を一時保留にすることができます。通話に復帰するときも同じ操作を行います。このとき、相手との通話は確立したままですが、無音となります。保留中、メインボタン（M）を押すと通話を終了します。

4. 着信転送（受話器切替）

通話中に設定したボタンの長押しで、コムパイロットから電話機に受話器を切り替えることができます。補聴器を使用していない、他の方に電話を代わる際などに使用します。電話機からコムパイロットに戻すには、携帯電話側の操作が必要です。転送後、通話を終了する場合も携帯電話側で操作します。

オーディオ機器とコムパイロットの使用について

オーディオ機器からの音声ストリーミングを行う際は、ネックループを取り付けて首に正しく装着してください。

ケーブル接続

1. コムパイロットの電源をオンにします。
2. 携帯型音楽プレーヤーやゲーム機など、接続したい機器のヘッドフォンジャックにオーディオケーブルを接続します。
3. オーディオケーブルの反対側のプラグを、コムパイロットの外部入力端子に接続します。音声ストリーミングが自動的に開始され、オーディオ状態表示が橙色に点灯します。

音声ストリーミングを中断・再開するにはメインボタン(M)を押します。
ケーブル接続中は、ストリーミング中断中にメインボタン(M)を押しても、補聴器のプログラムを変更することはできません。

Bluetooth接続

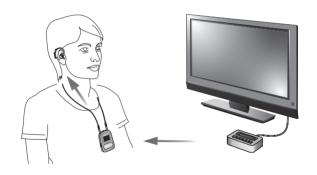
Bluetooth機能を搭載した音楽プレーヤ等があれば、ケーブルを接続しなくてもワイヤレスで音楽を楽しむことができます。

Bluetooth機器とコムパイロットを初めて使用する際は、あらかじめペアリング作業（27ページ）を行なってください。

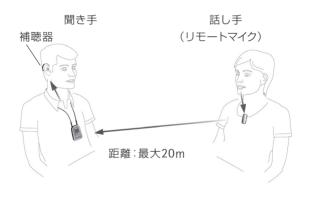
1. コムパイロットの電源をオンにします。
2. Bluetooth機器の電源をオンにします。機器により、自動的に再生するものとそうでないものが存在するため、必要に応じて再生ボタンなどを操作します。
3. ペアリングと接続の操作が正しく完了していれば、ストリーミングが開始され、補聴器から音楽が聞こえます。オーディオ状態表示が青色に点灯します。

Bluetooth機器のストリーミングを中断・再開するにはメインボタン（M）を押します。
Bluetooth接続中は、ストリーミング中断中にメインボタン（M）を押しても、補聴器のプログラムを変更することはできません。ストリーミングを終了するには、Bluetooth機器の電源を切るか、Bluetooth機能をオフにしてください。

フォナック テレビ リンク S

コムパイロットを使用してテレビの音声を聞く場合は、別売の「フォナック テレビ リンク S」をご使用ください。Bluetooth機能によりワイヤレスでテレビをお楽しみいただけます。

フォナック リモートマイク

フォナック リモートマイク（別売）を使用すれば、騒がしい場所でも距離の影響を受けること無く1対1の会話を続けることができます。

フォナック リモートマイクを話し手に身に着けてもらえば、その声がコムパイロットを経由してワイヤレスで補聴器に届きます。

フォナック テレビ リンク S およびフォナック リモートマイクを使用する際の、コムパイロットの操作については39ページ（Bluetooth接続）と同様です。

Roger/FMシステム

コムパイロットはフォナック補聴援助システム Roger および FM システムに対応しています。
Roger/FM受信機の取り付け方法は下図をご覧ください。（図はFM受信機 MLxi の例です）

1. コムパイロットに受信機を取り付けます。
2. 送信機をテレビ･ラジオなどの音源の近くに置くか、オーディオケーブルで接続し、送信機の電源をオンにします。
3. 送信機の音声を検知すると、補聴器から確認のビープ音が20秒間聞こえます。
4. メインボタン（M）を押すと、送信機からの音声が聞こえます。

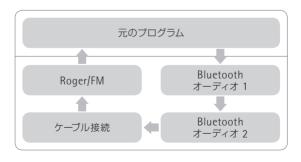
Roger/FMシステムの使用を中断･再開するにはメインボタン（M）を押します。
Roger/FMシステム使用中は、メインボタン（M）を押しても補聴器のプログラムを変更することはできません。終了するにはコムパイロットからRoger/FM受信機を取り外してください。

複数の入力音源の切り換え

1つの入力音源だけで使用する場合（例えばテレビなど）では、メインボタン（M）を押すたびに一時停止と再開の繰り返しとなります。

複数の音源が接続された状態では、コムパイロットのメインボタン（M）を押すごとに決まった順序で入力音源が切り換わります。

接続されていない音源がある場合は、自動的に次の音源に進みます。

入力音源の切り換え順序は図の通りです。一巡すると音声ストリーミングを一時停止して補聴器は元のプログラムに戻ります。

キーロック

コムパイロットを使用中に誤ってメインボタンが押され、ストリーミングが中断されないように、メインボタンを一時的に無効にすることができます（キーロック）。キーロックおよび解除はホームボタン（）と接続ボタン（）を同時に押してください。

キーロック中であっても、メインボタン以外のすべてのボタンは操作可能です。

- キーロック中でも、メインボタンでかかってきた電話を受けることができます。
- キーロック中にメインボタンを押すと、電源状態表示が赤色の短い点滅を3回行います。

確認ランプについて

確認ランプでは次のような情報が確認できます。

電源状態表示

充電中	赤色　点灯
充電完了	緑色　点灯
電源オン	緑色　2秒間点灯
電源オフ	赤色　2秒間点灯*
電池残量が20%以上	緑色　点滅**
電池残量が20%未満	赤色　短い点滅**

* コムパイロットの電源をオフにする時、Bluetooth機器との接続を解除するまで確認ランプが赤く点滅することがありますが異常ではありません。

** ネックループが取り付けられていないときは、確認ランプはコムパイロットの電源をオンにした時、ボタンを押した時と充電中にのみ表示されます。

バッテリーの状態

コムパイロットをリモコンとして使用する場合、ボタン操作時の確認ランプの色で、電池残量を知ることができます。

緑色：電池残量が20%以上
赤色：電池残量が20%未満

電源状態表示が赤色に変わったら、すみやかに充電を行なってください。

オーディオ状態表示

ケーブル接続またはRoger/FM*	橙色　点灯
Bluetooth携帯電話や 音楽のストリーミング	青色　点灯
1台のBluetoothデバイスが 接続	青色　短い点滅
2台のBluetoothデバイスが 接続	青色　短い点滅が 2回ずつ
通話中	青色　点灯
Bluetoothペアリングモード	青色　速い点滅
接続テスト中	紫色　点灯

* ケーブル接続またはRoger/FMの時は、Bluetooth接続の状態にかかわらず橙色となります。

コムパイロットをリセットする

何らかの理由で、コムパイロットが反応しなくなった場合、次の手順でコムパイロットをリセットすることができます。

1. コムパイロットの電源スイッチをオンの位置にします。
2. 接続( )ホーム( )音量調節( )のボタンを同時に2秒押し続けます。

3. 電源スイッチをOFFの位置にします。
4. 5秒間待ちます。

これでリセットが完了し、電源スイッチをオンにすると通常の動作が可能になります。

リセットを行なっても、Bluetoothペアリングや各種設定、補聴器とのグルーピングは保持されます。

トラブルシューティング

症状	考えられる原因
オーディオストリーミング中に音が途切れる。	Bluetooth機器との距離が遠いか、または体の後ろ側に位置している。
	ペアリング済みBluetooth機器の検索を行なっている。
音楽の音量が大きすぎる、または小さすぎる。 電話の音量が大きすぎる、または小さすぎる。	接続する機器ごとの入力音レベルが異なっている。
騒音下で電話の声が聞きにくい。	通話中の、補聴器のマイク音量が大き過ぎる。
携帯電話の通話時、相手には自分の声が届くが、相手の声が聞こえない。	電話機に着信転送を行った。
	携帯電話の仕様で、発信時に受話器切替が必要。

対策
Bluetooth機器とコムパイロットの距離を近づけてください。また、身体が障害物にならないよう前方にBluetooth機器が来るようにしてください。
電源をオンにしてから2分間はペアリング済み機器の検索を行なっています。しばらく経ってからストリーミングを再開してください。
コムパイロットに接続する携帯電話やその他の機器ごとの音量を調節するには、それぞれの機器に設けられた音量調節機能を使用してください。
コムパイロットの音量調整ボタンを押して、補聴器のボリュームを下げます。 補聴器のボリュームを下げると電話の音量が小さい場合、携帯電話側の音量調節を大きくしてください。
電話機側のメニューから、受話器切替をコムパイロットに切り替えてください。切り替え方法は電話機によって異なります。お使いの電話機に付属の取扱説明書をご覧ください。

症状	考えられる原因
ペアリングを行ったのに、コムパイロットがBluetooth機器から認識されなくなった。	コムパイロットがスリープ（省電力）モードになっている。
	Bluetooth機器との距離が遠い。
	ペアリング情報が削除された。
ストリーミングを行なっていないのに、補聴器がストリーミング状態に切り替わる。	メール着信音や各種お知らせ音が鳴っている。 キー操作音が有効になっている。
携帯電話を操作すると補聴器から操作音が聞こえる。	キー操作音が有効になっている。

対策
電源を入れなおしてください。 電源をオンにしてから2分間はペアリング済み機器の検索を行います。その際に対象機器が検出できない場合、コムパイロットは電力を節約するためにスリープモードに移行します。
1m以内の範囲で再試行してください。
Bluetooth機器をペアリングしなおしてください。 コムパイロットは、最大8台のBluetooth機器とペアリングできますが、それ以降は古いペアリング情報が新しいペアリング情報に上書きされる可能性があります。
携帯電話によっては、着信時だけでなく、メールや様々なお知らせ音、キー操作音などもコムパイロットに送信する場合があります。 お使いの携帯電話で、これらのサウンド設定を無効にしてください。
お使いの携帯電話で、キー操作音を無効にしてください。

症状	考えられる原因
携帯電話に接続すると、勝手に音楽プレーヤーが起動する。	携帯電話の仕様によるもの。
電話が鳴っても補聴器から着信音が聞こえず、確認ランプも青色にならない。	携帯電話のBluetooth機能がオフになっている。
	コムパイロットと携帯電話が接続されていない。
	ペアリングが未完了。
	携帯電話との距離が遠い。

	対策
	一部の電話機は、自動的に音楽プレーヤーを起動するよう設計されたものが存在します。その場合、これはコムパイロットが原因の症状ではなく、正常な動作となります。 自動的に音楽プレーヤーを起動しないよう設定することができるかどうかはお使いの電話機に付属の取扱説明書をご覧ください。
	携帯電話のBluetooth機能がオンになっているかご確認ください。
	1. お使いの携帯電話のBluetooth機能を一旦オフにして、再度オンにします。 2. コムパイロットの電源を一旦オフにして再度オンにします。コムパイロットは電源をオンにしてから2分間、ペアリング済み機器の検索を行ないます。 3. 携帯電話の「Bluetooth機器リスト」などでコムパイロットを選び、接続します。
	ペアリングを行なってください。
	コムパイロットをネックループで首に正しく装着し、携帯電話をコムパイロットから 5m 以内に設置してください。

症状	考えられる原因
携帯電話に着信があっても着信音が補聴器から聞こえない。オーディオ状態表示は正しく青色に点灯している。	コムパイロットと補聴器が通信できない。
	携帯電話がマナーモードになっている。
	2台同時待ち受けを行なっていて、すでに1台で通話を行なっている。
	ペアリングが未完了。
通話中、相手に自分の声が届かない、もしくは自分の声が聞きにくいと言われる。	コムパイロットのマイクが塞がっている。
	コムパイロットの向きが正しくない。
	衣擦れ音が混じっている。

対策
コムパイロットをネックループで首に正しく装着してください。
マナーモードを解除するなど、携帯電話の着信音を有効にしてください。
1台目で通話をしている間、2台目の電話機の着信音は補聴器から聞こえません。
ペアリングを行なってください。
コムパイロットのマイクの開口部が身体や衣服、また汚れや異物で塞がっていないか確認してください。
コムパイロットが正しく装着されていない可能性があります。コムパイロットを横向きにしたりせず、ネックループのプラグがまっすぐ自分の口に向かう角度になっているか確認してください。
衣服とコムパイロットが擦れ合わないようにしてください。

症状	考えられる原因
通話中、相手に自分の声が届かない、もしくは自分の声が聞きにくいと言われる。	周囲の雑音が大きすぎる。
コムパイロットが応答しない。または電源をオンにしても確認ランプが点灯しない。	充電ができていない。
	ソフトウェアのエラーが発生している。
コムパイロットの使用可能時間が極端に短い。	初めて使用する、もしくはしばらく使っていなかった。

対策
コムパイロットには、騒音低減技術を内蔵していますが、あまりにも雑音の多い環境は避けてください。 相手の電話機の音量を上げてもらってください。
最低1時間以上充電を行なってください。
コムパイロットに接続されているケーブル、Roger/FM受信機などを全て取り外します。その後コムパイロットの電源を一旦オフにして再度オンにします。 コムパイロットをリセットしてください。
初めてコムパイロットをご使用になる際は、充電池がまだ完全に機能してない可能性がございます。 最初の充電は最低3時間以上連続で行なってください。 また、2〜3回の放充電を繰り返してください。

重要なお知らせ

お手入れ方法

- 入浴時や水泳、また夏場における車のダッシュボードの上などの高温・多湿の場所で使用したり放置しないでください。

- フィットネスやスポーツなどを行うときには使用しないでください。また、肌に直接触れるような使用方法は避けてください。

- X線照射、CTまたはMRIスキャンは、コムパイロットを破壊したり、悪影響を与える可能性があります。

- 落下や過度の振動、衝撃を与えないでください。

- 各プラグに汚れや異物が入らないよう注意してください。

- コムパイロットを乾燥させる目的で電子レンジやその他加熱を行う装置は使用しないでください。

お手入れの際、家庭用洗剤(洗濯粉・石鹸など)やアルコールは絶対に使用しないでください。

コムパイロットと補聴器が通信を行なっている間、ネックループを取り外さないでください。

長さが3 mを超えるUSBまたはオーディオケーブルを接続しないでください。

コムパイロットを使用しない時は、電源をオフにし安全な場所に保管してください。

安全上の注意点

3歳未満のお子様の手の届かないところに保管してください。

コムパイロットを首にかけたまま、補聴器との調整を行わないでください。

リモコンとして手に持って使用する際、ネックループだけでなくコムパイロットに接続されているケーブル、Roger/FM受信機などを全て取り外してください。

電子機器の使用が禁止されている区域では使用しないでください。

品質保証期間とアフターサービス

- コムパイロットの無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 製品に同梱している保証書に「販売店名」「お買い上げ年月日」などが記載されていることを確認の上、大切に保管してください。
- お客様、または第三者による誤った使用、過失、故意または改造による故障の場合は有償修理となりますのでご了承ください。
- 保証期間内の修理の際には、保証書が必要となります。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

CE 記号は、アクセサリー類を含む製品が医療機器指示文 93/42/EEC と R&TTE 指示文199/5/EC のラジオと通信機器·送信機の基準を満たしていることを示しています。

この記号は、補聴器を使われる人が取扱説明書に書いてある内容を読み理解してもらうことが大事であることを示しています。

ゴミ箱に×印の記号は、通常と異なるごみ処理が要求される可能性があることを意味します。処分される際はお住まいの自治体が定める方法に従ってください。

製造販売業
フォナック・ジャパン株式会社
〒141-0031
東京都品川区西五反田5-2-4
レキシントン・プラザ西五反田
TEL 0120-06-4079(お客様相談窓口)
FAX 0120-23-4080
www.phonak.jp

販売店名

029-1067-17/V3/2013.11 Printed in Japan